

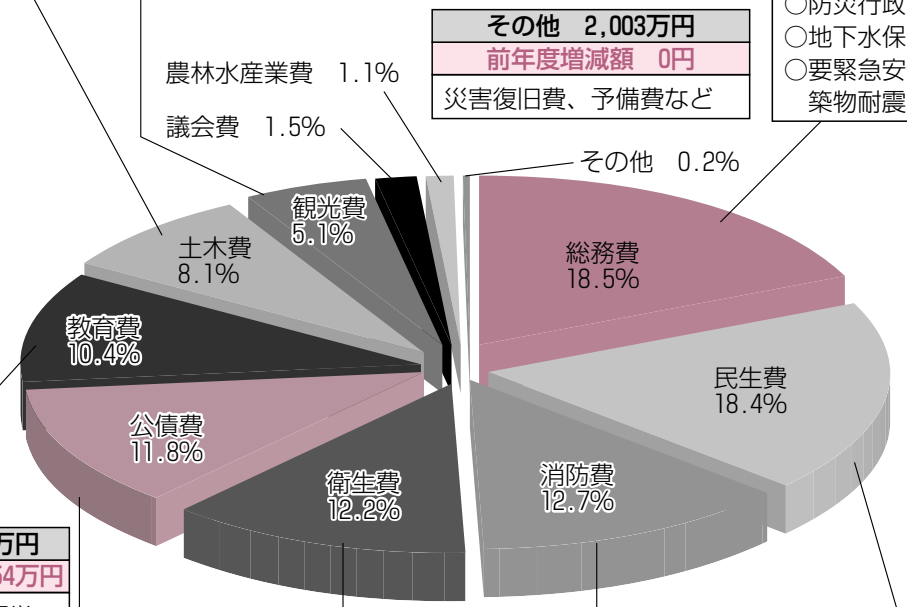
平成26年度箱根町 予算総額 143億7,600万円

一般会計 85億4,200万円
特別会計 58億3,400万円

※一般会計の歳入・歳出予算額は同額になります。

歳出

土木費 6億8,868万円 前年度増減額 5,549万円 道路、公園整備、住宅管理などに使うお金 主な事業 ○橋りょう長寿命化改修事業 ○町道湯2号線道路改良整備事業	観光費 4億3,798万円 前年度増減額 △9,239万円 町の観光宣伝として開催する事業や産業の振興などに使うお金 主な事業 ○芦刈の里活性化事業 ○公衆便所整備事業 ○観光情報推進事業	議会費 1億2,840万円 前年度増減額 △1,301万円 議会運営のために使うお金	農林水産業費 9,450万円 前年度増減額 537万円 農林業や水産業の振興のために使うお金 主な事業 ○豊かな森林づくり事業	総務費 15億7,548万円 前年度増減額 △1億3,345万円 町の事務管理、庁舎管理、選挙など町の総括的な事務に使うお金 主な事業 ○防災行政無線整備事業 ○地下水保全対策事業 ○要緊急安全確認大規模建築物耐震診断費補助事業
---	---	---	--	---



教育費 8億8,394万円 前年度増減額 △3,454万円 幼稚園、小中学校の運営、文化財保護など教育全般に使うお金 主な事業 ○高等学校等通学費補助事業 ○小学校校舎等整備事業 ○地域スポーツ施設整備事業	衛生費 10億4,060万円 前年度増減額 564万円 保健衛生、ごみ処理・環境保全など衛生的な生活のために使うお金 主な事業 ○在宅医療連携拠点づくり事業 ○働く世代の女性支援のためのがん検診推進事業
--	---

公債費 10億1,000万円 前年度増減額 5,900万円 町債（借入金）を返済するお金	消防費 10億8,894万円 前年度増減額 1億7,745万円 消防、救急活動の経費、防火水槽、消火栓の設置などに使うお金 主な事業 ○消防無線デジタル化推進事業 ○救急業務高度化推進事業 ○消防車両整備事業
---	---

民生費 15億7,345万円 前年度増減額 7,844万円 福祉サービス、各種医療の助成など福祉全般に使うお金 主な事業 ○臨時福祉給付金給付事業 ○後期高齢者保健事業 ○子育て世帯臨時特例給付金給付事業

会計名	当初予算額	前年度増減額	増減率
特別会計	52億0,430万円	4億3,960万円	9.2%
国民健康保険	16億3,800万円	△2,800万円	△1.7%
後期高齢者医療	2億9,630万円	△40万円	△0.1%
介護保険	10億7,550万円	1億0,350万円	10.6%
4財産区	520万円	△840万円	△61.8%
温泉	1億4,800万円	1,100万円	8.0%
育英奨学金	3,830万円	1,390万円	57.0%
下水道事業	20億0,300万円	3億4,800万円	21.0%
水道事業会計	6億2,970万円	△5,660万円	△8.2%
合計	58億3,400万円	3億8,300万円	7.0%

特別会計

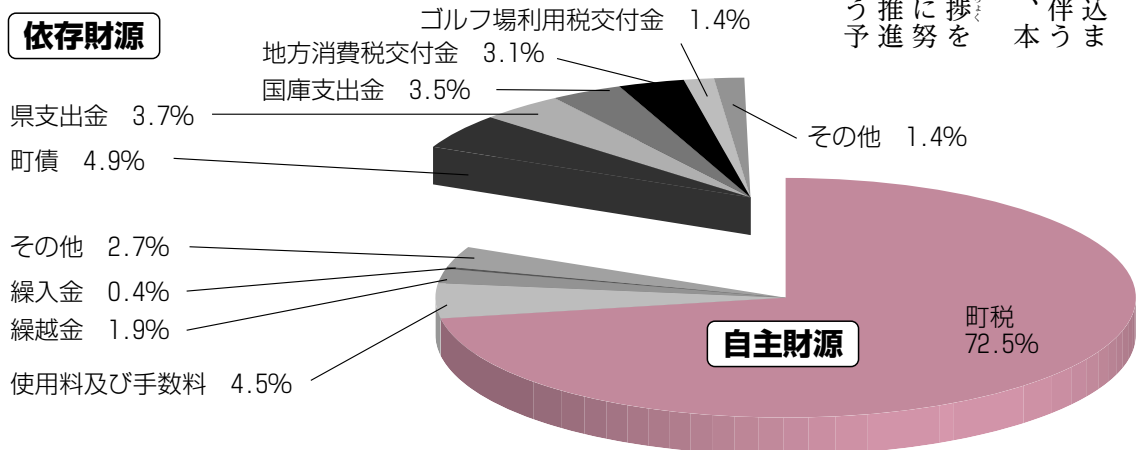
町の予算には、一般会計の他に「特別会計」と「水道事業会計」があります。これらは特定の事業を行う場合や町特有の仕事をするために、一般会計と区別して設けられており、特定の収入を特定の支出に充てるなど、それぞれの会計内でやりくりしています。

歳入

一般会計		
当初予算額	前年度増減額	増減率
85億4,200万円	1億800万円	1.3%

依存財源(18.0%) 15億3,746万円(前年度増減額 1億9,554万円)

- 町債 4億2,180万円 (1億6,210万円) (国や県、金融機関から借り入れるお金)
- 県支出金 3億1,451万円 (△5,465万円) (事業など特定の目的の財源として県から交付されるお金)
- 国庫支出金 2億9,995万円 (5,799万円) (事業など特定の目的の財源として国から交付されるお金)
- 地方消費税交付金 2億6,500万円 (200万円) (地方消費税として徴収し、町の人口割合などに応じて交付されるお金)
- ゴルフ場利用税交付金 1億2,000万円 (△300万円) (県に納められたゴルフ場利用税からゴルフ場のある町に交付されるお金)
- その他 1億1,620万円 (3,110万円) (地方譲与税、自動車取得税交付金、地方特例交付金など)



自主財源(82.0%) 70億454万円(前年度増減額 △8,754万円)

- 町税 61億9,600万円 (△3,800万円) (町に納められる税金)
- 使用料及び手数料 3億7,965万円 (2,873万円) (施設の利用料や住民票などの交付手数料として支払われるお金)
- 繰越金 1億6,400万円 (1億4,400万円) (前年度から繰り越されるお金)
- 繰入金 3,425万円 (△1億4,390万円) (基金の取り崩しにより繰り入れるお金)
- その他 2億3,064万円 (△7,837万円) (財産収入、分担金および負担金、寄付金など)

平成26年度予算概要

金融緩和をはじめとする各種政策や2020年に開催が決まった東京五輪に対する期待から、景気回復の兆しが見られるものの、消費税引き上げに伴う公共料金などの値上げや駆け込み需要の反動も予想され、先行きは期待と不安が混在しています。また、本年度は町税や財産収入などの減少が見込まれる一方で、前年度に行った土地開発公社解散に伴う債務保証履行に充てた借入金の返済が始まるなど、町の財政状況は大変厳しいものとなっています。このような中、「第5次総合計画」の着実な進捗を図るため、限りある財源の有効かつ効率的な活用を推進し、経常経費の抑制と事業の「選択と重点化」を推進しつつ、住民サービスを後退させないことを目指し、予算を編成しました。

町税の内訳

項目	予算額	前年度増減額
固定資産税	42億3,960万円	△570万円
町民税	10億4,890万円	△1,300万円
入湯税	7億320万円	△740万円
町たばこ税	1億8,400万円	△1,200万円
軽自動車税	2,030万円	10万円
合計	61億9,600万円	△3,800万円

平成26年度一般会計予算の総額は85億4,200万円となり、前年度より1億800万円の増額となりました。歳入に当たる町税では、地方公共団体で実施する防災・減災のための施策の財源として個人町民税が1人当たり500円上乗せされるものの、法人町民税が1,310万円の減となるなど、町税全体としては前年度に比べ3,800万円の減と見込んでいます。一方、歳出面では、新たに在宅医療・介護の相談窓口を設置し、大規模建築物の耐震診断に係る費用を補助します。また、防災・減災のための施策として防災行政無線の改修、消防団車両の更新、消防無線デジタル化へ対応するための整備工事を実施します。町が目指す「環境先進観光地一箱根」の取り組みについては、4月にオープンする箱根ジオミュージアムを拠点とした箱根ジオパーク活動の充実を図るとともに、外客誘致を推進していきます。本年度は、前年度に増して厳しい財政状況ですが、人件費を含む経常的経費の削減を徹底させることにより財源を捻出し、町の将来や差し迫った課題に対応するための施策に重点的な配分を行い、防災・減災のための施策をはじめとした住民サービスが低下しないようにしました。